

2020年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社壽屋 上場取引所

東

コード番号 7809 URL https://www.kotobukiya.co.jp/

表 者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)清水 一行

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長

(氏名) 村岡 幸広

(TEL) 042-522-9810

定時株主総会開催予定日

2020年9月29日 配当支払開始予定日 2020年9月30日

有価証券報告書提出予定日 2020年9月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無

: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期の業績(2019年7月1日~2020年6月30日)

(1)経営成績

(1)経営成績						(%表示は対前期	月増減率)
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	7, 374	Δ11.1	228	△16.1	231	△5.4	75	△45. 2
2019年6月期	8, 294	△5.9	272	△60.0	244	△60.3	137	△67. 2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	27. 96	27. 34	2. 7	3. 0	3. 1
2019年6月期	50. 23	48. 97	4. 8	3. 2	3. 3

(参考) 持分法投資損益 2020年6月期 -百万円 2019年6月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2020年6月期	7, 787	2, 789	35. 8	1, 038. 13	
2019年6月期	7, 733	2, 855	36. 9	1, 049. 52	

(参考) 自己資本 2020年6月期 2.789百万円 2019年6月期 2.855百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	667	△645	48	297
2019年6月期	756	△842	△146	238

2 配当の状況

<u> </u>									
			年間配当金	配当金総額	配当性向	純資産			
	第1四半期末	1四半期末 第2四半期末 第3四半期末			合計	(合計)		配当率	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%	
2019年6月期	_	0.00	_	30. 00	30.00	81	59. 7	2. 9	
2020年6月期	_	0.00	_	15. 00	15. 00	40	53. 7	1. 4	
2021年6月期(予想)	_	0.00	_	20.00	20.00		32. 4		

3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

								(70307)	10 (V) 101 /91 /10 /10 /10 /10 /10 /10 /10 /10 /10 /1
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7, 800	5.8	280	22. 6	240	3. 7	166	120. 2	61. 78

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2020年6月期	2,756,400 株	2019年6月期	2,751,000 株
2020年6月期	69,393 株	2019年6月期	30,593 株
2020年6月期	2,696,564 株	2019年6月期	2, 738, 576 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。 業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ 「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1 .	. 経営成績等の概況	• 2
	(1)当期の経営成績の概況	• 2
	(2) 当期の財政状態の概況	• 3
	(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	• 4
	(4) 今後の見通し	. 5
2.	. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	• 5
3.	. 財務諸表及び主な注記	• 6
	(1) 貸借対照表	• 6
	(2) 損益計算書	. 8
	(3) 株主資本等変動計算書	. 9
	(4) キャッシュ・フロー計算書	.10
	(5) 財務諸表に関する注記事項	·12
	(継続企業の前提に関する注記)	·12
	(追加情報)	
	(セグメント情報等)	
	(持分法損益等)	
	(1株当たり情報)	·12
	(重要な後発事象)	.12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、米国・中国間の貿易摩擦や英国のEU離脱問題に対する先行き懸念や、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞等により、先行きが非常に不透明な状況となっております。

当社を取り巻く事業環境につきましても、個人消費の多様化や少子化、消費税増税に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が重なり、事業環境は極めて厳しい状況が続いております。一方、有料動画配信市場の成長、モバイル端末の普及や通信インフラの発達によるスマートフォンゲーム市場は多様化・拡大が続くと共に、人気コンテンツの映画化やアニメ化、業界自体の収益機会の拡大も期待されています。

このような環境の中、当社はこれまでの方針を継続し、世界各国の顧客ニーズに合わせた魅力ある新製品開発を行うと共に、自社IP(Intellectual Property:キャラクターなどの知的財産)による製品開発に特に注力してまいりました。

卸売販売につきましては、国内において、大人気アニメ「鬼滅の刃」より「竈門炭治郎」、「竈門禰豆子(「禰」は「ネ」+「爾」が正しい表記)」を発売し、売上に貢献しました。自社IP製品においても「メガミデバイス」、「ヘキサギア」が引き続き好調な推移をみせました。その他、自社IP製品である「フレームアームズ・ガール」と、その関連製品である「フレームアームズ」、「モデリング・サポート・グッズ」等も堅調な推移をみせ、業績を牽引いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一時的に中国の生産委託工場の稼働停止により、製品の生産が計画どおり進まず、生産・出荷に影響を及ぼし、売上は伸び悩みました。

海外の北米地域においては、「アニメエキスポ2019」、「サンディエゴ・コミックコンベンション2019」に出展し、世界各国へ向けた製品及びブランドアピール、プロモーションをおこないましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による主要拠点のロックダウンにより、売上は伸び悩みました。

アジア地域におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も販売活動については限定的にとどまり、プロモーション活動を行うと共に、販売チャネル拡大を推進した結果、フィギュア製品の売上が好調でした。また、国内と同様に「メガミデバイス」などの自社IPのプラモデル製品も堅調な結果となりました。

直営店舗による小売販売につきましては、各種催事やイベントを実施するなど、店舗集客を目的とした施策にも取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、店舗の臨時休業や来店客数の大幅な減少等により、売上は伸び悩みました。緊急事態宣言解除後の店舗運営におきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定期的な換気や消毒、レジ前に飛散防止シートの設置など行い、衛生管理やスタッフの健康管理を徹底いたしました。ECサイトによる通信販売におきましては、他社との差別化として直営店舗限定商品や特典の開発を積極的に推進いたしました。

以上の結果、当事業年度の売上高は7,374,415千円(前年同期比11.1%減)、営業利益は228,451千円(前年同期比16.1%減)、経常利益は231,434千円(前年同期比5.4%減)、特別損失として減損損失109,740千円を計上したことなどにより、当期純利益は75,390千円(前年同期比45.2%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末の総資産は7,787,920千円となり、前事業年度末に比べ54,834千円(0.7%)の増加となりました。

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は4,295,773千円で、前事業年度末に比べ346,523千円(8.8%)増加しております。これは売掛金の減少140,810千円があった一方で、現金及び預金の増加154,875千円、商品及び製品の増加186,562千円、仕掛品の増加83,673千円、前渡金の増加88,560千円があったことが主な要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は3,492,147千円で、前事業年度末に比べ291,688千円(7.7%)減少しております。これは建物の減少213,617千円、工具、器具及び備品の減少31,950千円、金型の減少59,544千円があったことが主な要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は1,537,498千円で、前事業年度末に比べ113,736千円(6.9%)減少しております。これは買掛金の減少41,799千円、1年内返済予定の長期借入金の減少16,994千円、未払金の減少15,309千円、前受金の減少20,445千円があったことが主な要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は3,460,964千円で、前事業年度末に比べ234,224千円(7.3%)増加しております。長期借入金の増加206,424千円があったことが主な要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は2,789,458千円で、前事業年度末に比べ65,654千円(2.3%)減少しております。これは配当金の支払いによる減少81,612千円、自己株式の取得による減少62,494千円があった一方で、ストック・オプションの行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ1,530千円増加したこと、並びに当期純利益75,390千円を計上したことが主な要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローの状況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ59,029千円増加し、297,459千円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加199,878千円、貸倒引当金の減少92,830千円、前渡金の増加88,560千円等による資金の減少があった一方で、税引前当期純利益121,564千円、減価償却費797,953千円及び売上債権の減少140,810千円による資金の増加を主な要因として、667,574千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出583,817千円による資金の減少を主な要因として、645,707千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度末における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出410,570千円、自己株式の取得による支出62,494千円、配当金の支払額81,501千円による資金の減少があった一方で、長期借入れによる収入600,000千円による資金の増加を主な要因として、48,496千円の収入となりました。

(4) 今後の見通し

今後の経済動向は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響により、しばらくの間は厳しい状況が続くと見込まれます。

このような環境の下、当社はフィギュア、プラモデル製品等の企画・開発・販売を行う卸売販売、直営店舗・ECサイトによる製品の販売を行う小売販売に取り組んでまいります。他社IPを中心とした製品の販売に加え、「フレームアームズ・ガール」、「メガミデバイス」、「ヘキサギア」等の自社IP製品の開発・製造についても継続的に注力してまいります。また、アジア、北米を中心に現地企業とのアライアンスによる販売強化に注力してまいります。

自社IPの展開としては、新規自社IP「創彩少女庭園」、「アルカナディア」で他社とのコラボレーションを行い、コンテンツの認知度向上を行ってまいります。また、「メガミデバイス」についてはソーシャルゲーム「アリス・ギア・アイギス」とのコラボレーションを行い、プラモデルの販売促進と製品のラインナップの拡充を図ってまいります。

この結果、2021年6月期は売上高7,800百万円(対前期比5.8%増)、営業利益280百万円(対前期比22.6%増)、経常利益240百万円(対前期比3.7%増)、当期純利益166百万円(対前期比120.2%増)を見込んでおります。

なお、上記に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が2021年6月まで継続し、生活様式の変更等が業績に一定程度の影響を与えるものと仮定しております。実際の業績は、様々な要因によって異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間での比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。なお、今後の IFRS (国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

		(単位:千円)
	前事業年度 (2019年6月30日)	当事業年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 406, 713	1, 561, 588
売掛金	1, 298, 289	1, 157, 478
商品及び製品	532, 222	718, 784
未着品	71, 472	_
仕掛品	298, 828	382, 501
貯蔵品	4, 027	5, 142
前渡金	131, 283	219, 843
前払費用	146, 968	173, 552
未収還付法人税等	43, 868	-
その他	108, 406	76, 880
貸倒引当金	△92, 830	_
流動資産合計	3, 949, 250	4, 295, 773
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2, 071, 076	1, 857, 458
工具、器具及び備品(純額)	76, 649	44, 698
金型 (純額)	298, 705	239, 16
土地	708, 408	708, 408
建設仮勘定	60, 217	89, 872
有形固定資産合計	3, 215, 057	2, 939, 599
無形固定資産		
ソフトウエア	83, 560	67, 127
ソフトウエア仮勘定	_	6, 770
その他	109	109
無形固定資産合計	83, 670	74, 00
投資その他の資産		
関係会社出資金	7, 000	7,000
出資金	12, 330	12, 330
敷金及び保証金	163, 122	165, 779
繰延税金資産	143, 832	159, 425
その他	158, 823	134, 008
投資その他の資産合計	485, 108	478, 540
固定資産合計	3, 783, 836	3, 492, 147
資産合計	7, 733, 086	7, 787, 920

(単位:千円)

負債の部	(2019年6月30日)	(2020年6月30日)
(日1日(7月))		
流動負債	261 707	210 007
買掛金	361, 797	319, 997
短期借入金	400, 000	400, 000
1年内返済予定の長期借入金	371, 870	354, 876
未払金	130, 727	115, 417
未払費用	105, 949	95, 744
未払法人税等		39, 254
未払消費税等	27, 600	
前受金	130, 563	110, 117
預り金	34, 747	17, 303
賞与引当金	37, 338	37, 336
ポイント引当金	50, 641	47, 450
流動負債合計	1, 651, 234	1, 537, 498
固定負債		
長期借入金	2, 859, 452	3, 065, 876
退職給付引当金	101, 607	118, 939
役員退職慰労引当金	205, 600	215, 900
資産除去債務	20, 260	20, 428
その他	39, 819	39, 819
固定負債合計	3, 226, 739	3, 460, 964
負債合計	4, 877, 974	4, 998, 462
純資産の部		
株主資本		
資本金	441, 309	442, 839
資本剰余金		
資本準備金	403, 809	405, 339
資本剰余金合計	403, 809	405, 339
利益剰余金		
利益準備金	5, 550	5, 550
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2, 049, 802	2, 043, 580
利益剰余金合計	2, 055, 352	2, 049, 130
自己株式	△45, 357	△107, 851
株主資本合計	2, 855, 112	2, 789, 458
純資産合計	2, 855, 112	2, 789, 458
負債純資産合計	7, 733, 086	7, 787, 920

(2) 損益計算書

	前事業年度	(単位:千円) 当事業年度
	(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	8, 294, 627	7, 374, 415
売上原価		
商品及び製品期首たな卸高	588, 540	532, 222
当期商品仕入高	668, 748	546, 760
当期製品製造原価	4, 765, 763	4, 354, 790
合計	6, 023, 051	5, 433, 773
商品及び製品期末たな卸高	532, 222	718, 784
売上原価合計	5, 490, 829	4, 714, 988
売上総利益	2, 803, 797	2, 659, 426
販売費及び一般管理費	2, 531, 620	2, 430, 975
営業利益	272, 177	228, 451
営業外収益		
受取利息	406	297
受取手数料	1, 458	1,089
受取配当金	77	322
為替差益	2, 362	_
補助金収入	6, 242	6, 242
保険解約返戻金	1, 130	36, 172
その他	3, 494	7, 363
営業外収益合計	15, 172	51, 487
営業外費用		
支払利息	41, 771	38, 679
為替差損	_	8,777
その他	1, 005	1,048
営業外費用合計	42, 777	48, 504
経常利益	244, 573	231, 434
特別損失		
固定資産売却損	_	128
固定資産除却損	13, 378	(
減損損失	22, 495	109, 740
特別損失合計	35, 873	109, 869
税引前当期純利益	208, 700	121, 564
法人税、住民税及び事業税	65, 226	61, 766
法人税等調整額	5, 915	$\triangle 15,592$
法人税等合計	71, 141	46, 174
当期純利益	137, 558	75, 390

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本剰余金		利益剰余金					
	資本金	次 未 淮	利益準備金	その他利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	純資産合計	
		資本準備金		繰越利益 剰余金		Пні		
当期首残高	434, 590	397, 090	5, 550	1, 994, 062	-	2, 831, 292	2, 831, 292	
当期変動額								
当期純利益				137, 558		137, 558	137, 558	
新株の発行	6, 718	6, 718				13, 437	13, 437	
剰余金の配当				△81,819		△81,819	△81, 819	
自己株式の取得					△45, 357	△45, 357	△45, 357	
当期変動額合計	6, 718	6, 718	_	55, 739	△45, 357	23, 819	23, 819	
当期末残高	441, 309	403, 809	5, 550	2, 049, 802	△45, 357	2, 855, 112	2, 855, 112	

当事業年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰	創余金		株主資本 合計	純資産合計
		資本準備金	利益準備金	その他利益 剰余金	自己株式		
		資本準備並	· 利益平佣金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	441, 309	403, 809	5, 550	2, 049, 802	△45, 357	2, 855, 112	2, 855, 112
当期変動額							
当期純利益				75, 390		75, 390	75, 390
新株の発行	1,530	1,530				3, 061	3, 061
剰余金の配当				△81,612		△81,612	△81, 612
自己株式の取得					△62, 494	△62, 494	△62, 494
当期変動額合計	1, 530	1,530	_	△6, 221	△62, 494	△65, 654	△65, 654
当期末残高	442, 839	405, 339	5, 550	2, 043, 580	△107, 851	2, 789, 458	2, 789, 458

(4) キャッシュ・フロー計算書

	前事業年度 (自 2018年7月1日	当事業年度 (自 2019年7月1日
	至 2019年6月30日)	至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	208, 700	121, 56
減価償却費	783, 803	797, 95
減損損失	22, 495	109, 74
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10, 249	Δ
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12, 921	17, 33
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9, 950	10, 30
貸倒引当金の増減額(△は減少)	_	△92, 83
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△30, 961	△3, 19
受取利息及び受取配当金	△484	△62
支払利息	41, 771	38, 67
為替差損益(△は益)	$\triangle 1,424$	11, 10
固定資産売却損益(△は益)	<u> </u>	12
固定資産除却損	13, 378	
保険解約返戻金	△1, 130	△36, 17
売上債権の増減額(△は増加)	△220, 662	140, 81
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5, 646	△199, 87
仕入債務の増減額(△は減少)	29, 241	△41, 79
前払費用の増減額(△は増加)	54, 952	$\triangle 25, 56$
前渡金の増減額(△は増加)	42, 007	△88, 56
前受金の増減額(△は減少)	49, 534	$\triangle 20, 44$
未払金の増減額(△は減少)	46, 317	△30, 31
未払費用の増減額(△は減少)	$\triangle 18, 152$	△9, 81
預り金の増減額 (△は減少)	4,605	△17, 44
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3, 687	$\triangle 27,60$
その他	△5, 466	35, 34
小計	1, 033, 106	688, 73
利息及び配当金の受取額	481	61
利息の支払額	$\triangle 41,723$	△39, 01
法人税等の支払額	△235, 000	△33, 27
法人税等の還付額		50, 51
営業活動によるキャッシュ・フロー	756, 864	667, 57
資活動によるキャッシュ・フロー	,	
定期預金の預入による支出	$\triangle 1,546,230$	$\triangle 1,406,15$
定期預金の払戻による収入	1, 402, 130	1, 310, 30
有形固定資産の取得による支出	△652, 032	△583, 81
無形固定資産の取得による支出	$\triangle 25,955$	
敷金及び保証金の回収による収入	53	
保険積立金の積立による支出	$\triangle 21,456$	$\triangle 20, 37$
保険積立金の解約による収入	4, 828	89, 76
その他	△3, 480	△11, 37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△842, 142	△645, 70

		(単位:千円)
	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200, 000	600, 000
短期借入金の返済による支出	△200, 000	△600, 000
長期借入れによる収入	400, 000	600,000
長期借入金の返済による支出	△423, 308	△410, 570
社債の償還による支出	△10,000	_
株式の発行による収入	13, 437	3, 061
自己株式の取得による支出	△45, 357	△62, 494
配当金の支払額	△81, 560	△81, 501
財務活動によるキャッシュ・フロー		48, 496
現金及び現金同等物に係る換算差額	2, 664	△11, 334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		59, 029
現金及び現金同等物の期首残高	467, 832	238, 430
現金及び現金同等物の期末残高	238, 430	297, 459

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大は、生活様式の変更等により店舗販売の需要に一定程度の影響を与えるものと考えております。

2021年6月期を通じて当該影響は続き、以後徐々に回復基調になるものと想定し、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関しては不確定要素が多く、状況の変化によっては翌会計年 度以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当社の報告セグメントはホビー関連品製造販売事業のみの単一であるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	1,049.52円	1,038.13円
1株当たり当期純利益金額	50. 23円	27. 96円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	48.97円	27. 34円

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(住) 1 休日にサヨ朔杷利盆金領の昇足工の基礎は、以上	V/C 40 7 C 60 7 A 9 0	
項目	前事業年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当事業年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	137, 558	75, 390
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	_
普通株式に係る当期純利益(千円)	137, 558	75, 390
普通株式の期中平均株式数(株)	2, 738, 576	2, 696, 564
潜在株式調整後1株当たり当期純利益額		
普通株式増加数(株)	70, 493	61, 252
(うち新株予約権(株))	(70, 493)	(61, 252)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	_	_

(重要な後発事象)

該当事項はありません。